



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

◆例会日/週木曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
◆事務局/〒384-0011 長野県小諸市赤坂 1-16-1 赤坂てんじん薬局2F

◆会長 / 両川 博之 ◆副会長 / 矢島 栄一
◆幹事 / 望月 完 ◆広報・情報委員長 / 橋詰 希望

2024~2025 年度
国際ロータリーのテーマ

NO. 1638 令和7年4月3日



◆点鐘	両川 博之 会長
◆SAA	小池 平一郎 委員
◆ソング	君が代・誕生日の歌

◆誕生祝

川野 義春 会員

◆結婚祝

加藤 輝男 会員 ・ まさ子 夫人
小池 平一郎 会員 ・ 瑞穂 夫人
依田 常広 会員 ・ 直美 夫人

◆皆勤祝

小山 等 会員(4)

【会長挨拶】両川 博之 会長

皆さん、こんにちは。

本日は4月最初の例会にお集まりいただき、ありがとうございます。新年度が始まり、これからもロータリーの活動を通じて、地域社会に貢献し、世界中の人々と繋がることを目指して行きましょう。

さて、28日午後にミャンマー中部で地震が発生しました。マグニチュード7.7の強い地震で、同国でこれまでに1700人近くの方が死亡し、3400人近くが負傷、140人が行方不明になっていて、数多くの方が被災しました。地震の影響を受けた地域では、ビルが倒壊するなど多くの家屋やインフラが損壊しました。また、近隣のタイ、中国でも被害が出ているようです。被災に遭われた方々に心からお見舞い申し上げるとともに、彼らが、一日でも早く平穏な生活を取り戻せることを願っています。

ロータリークラブとしても、こうした自然災害が発生した際には、国境を越えて支援の手を差し伸べる事が重要です。私たちが持つネットワークや資源を活用し、被災地に支援物資を送るだけではなく、復興支援や地域作りにも貢献できることが求められています。

また、地震のような自然災害が発生するたびに、私たちが出来る事、そしてしなければならないことは何かを考えさせられます。災害発生時の迅速な対応だけではなく、災害後の支援や復興活動を通じて、地域社会が再建されて行く過程に関わって行く事が必要だと感じています。

本日の卓話は、倉本会長エレクトに先日開催されたPETSの報告として次期のRI会長や会長方針等をお話

頂きます。それでは、本日も宜しくお願いします。

【幹事報告】望月 完 幹事

代読 小山 等 委員長

- 東信第一グループ 夏川周介ガバナー補佐より
RI 第 2600 地区
東信第一グループ親睦ゴルフコンペのご案内
日時:5月30日(金)
場所:大浅間ゴルフクラブ [TEL:0267-32-3131](tel:0267-32-3131)
集合:AM7:50
スタート:AM8:28~
費用:プレー代 12,000円
(昼食・キャディー付)
参加費:3,000円
(プレー終了後、レストランにて表彰式)
申込締切:5月16日(木)
- 松本 RC より
第31回インターアクト地区大会報告書送付
- 例会変更
・軽井沢RC
4月 7日(月) 定刻受付なし
4月14日(月) 定刻受付なし
4月28日(月) 定刻受付なし
5月 5日(月) 定刻受付なし
- 週報
月信4月号

【本日の配布物】
週報第 1637 号

◆出席報告 倉本 浩行 委員長

会員数	19名	出席義務者	18名	免除者	1名
本日		出席	17名		
		事前 MU	2名	94.44%	

◆委員会報告

クラブ運営委員会 倉本 泰志 委員長
・親睦旅行について

◆ラッキー賞

No.13 前田 博志 君

◆ニコボックス 前田 博志 委員

川野義春君	家族にも誕生日おめでとう。の言葉すらかけて頂けないのですが、小諸浅間ロータリークラブさんからは、手厚いお祝いのお言葉と商品券を頂き、感謝です。4月初旬から最高のスタートになれそうです。
加藤輝男君	皆様ご苦労様です。結婚祝い有り難うございました。何とか80才まで一緒に暮らしてまいりました。考えれば長い様な短い様な人生だったと思います。今後は幸せに暮らして行きたいと思っております。よろしくお願ひ致します。
青松英和君	2番目の年長の孫が大学に進学しました。
小山 等君	皆勤賞ありがとうございました。
倉本浩行君	誕生日、皆勤祝の皆さん、おめでとうございます。

依田常広君	結婚祝いをいただき、ありがとうございました。今回は、大切に花を育てたいと思います。
小池平一郎君	結婚祝いを頂けるとのことでありがとうございます。53回目になります。お祝いの花が毎年咲いております。
倉本泰志君	こもろ布引いちご園、NHK取材あり、テレビ放送予定。娘が出る予定ですので是非、ご覧ください。
橋詰希望君	ミャンマーの地震被害、水がなく、電気もなく、着るものもなく、これからも亡くなっていく方が増えそうです。水、飲料、遺体袋、蚊帳が欲しいとのこと。皆様のご支援をお願いいたします。
前田博志君	ラッキー賞ありがとう。

◆【本日のプログラム】 「PETS の報告」 倉本 浩行 会員

国際ロータリー2024-2025年度
会長エレクト研修セミナー

UNITE FOR GOOD

よいことのために 手を取りあおう



小林年度 マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ 第116代会長 (ブラジル)

1980年、23歳で入会。「超私の奉仕によって、ロータリーは、私が知る限り、他に類を見ない独自のアイデンティティを築き上げた。

私たちは、世界を広げてくれる団体に所属していることを忘れてはならない



RI理事会において2025-26年度からRIテーマとロゴの廃止が決定。
マリオ会長のメッセージ **UNITE FOR GOOD**
『よいことのために手を取りあおう』

ロータリーの行動計画と、4つの優先事項が、今後の活動指標

- 1 より大きなインパクトをもたらす
- 2 参加者の基盤を広げる
- 3 参加者の積極的なかわりを促す
- 4 適応力を高める

2025-26年度 RI会長メッセージ

よいことのために手を取りあおう **UNITE FOR GOOD**

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏
(ブラジル サントアンドレ・ロータリークラブ所属)

(記事Etelka Lehoczky)

国際ロータリーのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトは、2月10日、米フロリダ州オーランドで開かれたロータリー国際協議会で、「地球上で最も有能なボランティアのチーム」を拡大する計画の概要を示し、成長、奉仕、つながりを大切にして「よいことのために手を取りあおう」と会員に呼びかけました。

「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です」。こう述べたデ・カマルゴ氏は、ロータリーのパートナー団体からロータリー会員の「並外れた献身」を称賛したことに触れ、次のように続けました。「外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました」

サンパウロ (ブラジル) のサントアンドレ・ロータリークラブに所属するデ・カマルゴ氏は、新たな視点を模索し、世界の地域社会でのロータリーの奉仕を強化することの重要性を強調しました。その上で、成長のための「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップを挙げました。

革新しながらも一貫した伝統を築く

世界がいかに急速に変化しているかを指摘したデ・カマルゴ氏は、革新を呼びかけました。

「テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。……革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです」

これを実現する重要な方法の一つは、さまざまなクラブモデルを採用し、推進することだと、デ・カマルゴ氏は言います。衛星クラブ、分野特化別クラブ、法人クラブ、バスボートクラブなど、さまざまな方法でロータリーを体験することができます。自身の妻が50人近くの会員を擁する衛星クラブの設立に助力したことに触れ、「将来のロータリー会員はどこにでもいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります」と語りました。

また、リーダーシップの継続性の重要性を強調しました。過去18か月に多くの場所を視察してその必要性を目の当たりにしたデ・カマルゴ氏は、ガバナーが前任者の取り組みを土台とし、プログラムや戦略を中断することなく継続させることが地区の発展につながるかと話しました。

ナイジェリアでの井戸建設、大洪水の被災者を支援するパキスタンでの取り組み、子どもたちの命を救う医療を提供するインドでのロータリー補助金プログラムを挙げたデ・カマルゴ氏は、次のように述べました。「継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士の連携し、自分のガバナー年度を超えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます」

パートナーシップのカ

デ・カマルゴ氏は、ロータリー会員は単独でも大きな成果をあげられるが、仲間と協力すれば世界を変えることさえ可能だと述べました。その上で、ポリオ根絶に向けたロータリーの歴史的な取り組みは、ゲイツ財団、世界保健機関、UNICEF (国連児童基金) などのパートナーと連携して行われてきたことを指摘。これらのパートナー団体がいなかったら、ロータリーが同様のインパクトをもたらすことはできなかっただろう、と述べました。さらに、入会への関心を高め、クラブを活性化させるために、さまざまな形でパートナーシップを模索するよう提案しました。

事業者団体、専門職団体、学術機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら新会員を増やすことができると、デ・カマルゴ氏は、「奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます」

ロータリーのすべての功績と成長は、究極的に会員にかかっている、と述べたデ・カマルゴ氏は、会員の入会促進と維持に力を入れることで、今後とも長年にわたって地域社会に変化を生み出すロータリーの強さと力が高まると語りました。

「分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。……よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう」


ロータリーは「地球上で最も有能なボランティアのチーム」
 成長、奉仕、つながりを大切に「よいことのために手を取りあおう」
 「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です」。

成長のための「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップ
 単独でも大きな成果をあげられるが、仲間と協力すれば世界を変えることさえ可能
 ポリロ根絶に向けた取り組みは、ゲイツ財団、世界保健機関、UNICEF（国連児童基金）
 などのパートナーと連携して行われてきた

入会への関心を高め、クラブを活性化させるために、さまざまな形でのパートナーシップを
 模索すべき。事業者団体、専門職団体、学術機関など協力。
 職業や考え方の多様性を取り入れながら新会員を増やすことができる。

ロータリーのすべての功績と成長は、究極的に会員にかかっている。会員の入会促進と維持
 力を入れることで、地域社会に変化を生み出し、ロータリーの強さと力が高まる

「分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となる。私たちのプロジェクト
 は、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいこと
 をするという共通の目的で私たちをつなげます。……よいことのために手を取りあえるロー
 タリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう」



印刷業界のビジネス・コンサルティングであり、父親が設立した印刷会社Gráfica Bandeirantesの
 元取締役。彼のリーダーシップのもと、同社はブラジル南東部のクライアントに印刷物を提供
 するサプライヤーに成長。
 軍学校に在籍し、ロータリー青少年交換プログラムで米国ミネソタ州セントポールの高校を卒業。
 14歳のオックスフォードにある印刷機メーカー、MAN Rolandで1年間のインターンシップを
 経験した後、Fundação Getulio Vargas' São Paulo School of Business Administrationより学士号
 を取得。また、サン・ベルナルド・ド・カンポ法科大学より法学士号を取得。
 ブラジルのグラフィック技術協会やブラジル印刷産業協会（ABIGRAF）の会長など、数多くの
 専門家団体を率いた経歴を有する。また、全国産業連環のサンパウロ州産業連環（FIESP）代表
 理事、FIESP副会長、ラテンアメリカ印刷産業連環副会長も兼任。フロリダ印刷協会から
 「Printing Leader of the Americas」賞、NFES（印刷・出版・加工技術サプライヤー協会）から
 「Global Presidential Print Award」を受賞。
 1980年、23歳でロータリーに入会。理事と管理委員を歴任し、ブラジルで4番目のRI会長として
 就任。RIフロンティアファシリテーター、Avoidable Blindness（回避可能な失明）タスクフォース
 のゾーンコーディネーター、健康問題のタスクフォース中南米コーディネーター、RI会長代理、
 規定審議会代表委員など数多くの役割を歴任。また、RI会員増強委員会、ロータリー財団プロ
 グラム財務委員会、国際リソース委員会にも貢献。
 ロータリーの世界的な活動に感銘を受けており、「逆境の幸仕によって、ロータリーは、私が
 知るところで、他に類を見ない独自の世界的アイデンティティを築き上げた。私たちが皆、世界を
 広げてくれる団体に所属していることを忘れてはならない」と話す。
 2020年のコロナ禍の初期に、二つの目標に着手（一つはロースクール卒業38年後の司法試験合
 格のための勉強、もう一つはイタリア語の勉強）。歴史や伝記の本を読むこと、おいしいワ
 インを味わうことも趣味とする。ロータリー財団特別功労賞受賞者。
 ロータリー財団特別功労賞を受賞。デニス夫人と共に、メンターナー、ロータリー財団ベ
 ネファクター。



2025年1月19日 目黒雅叙園
 「マリオ・セザール・マルティンス・デ・カルモ
 会長エレクトからのメッセージ」(骨子)

- ・私の呼び名は「スーパーマリオ」であろうが「マイク
 マリオ」でも構わない。
- ・日本のロータリアンであり、友情を深めてきた
 ロータリー財団（TRF）の管理委員である三木明さんか
 ら送られたスーパーマリオの衣装を着た時、「ロータ
 リーの楽しさ」を覚えた。
- ・私は弁護士でもあるので、共通認識として、すべてを
 「明確に文書化」し、多くのロータリアンに伝えてほしい。

【ガバナーエレクトそして地区リーダー・クラブリーダーへ】

DREAM①
 夢を諦めるな、諦めると夢が貴方を見捨てます。

CONNECT②
 繋がりが大切です。
 個々の人間が孤立した存在ではなく、広い社
 会や人類全体の一部としてつながっている。

ガバナー補佐のみなさまには、地区とクラブとの絆を結ぶ
 大切な役割があり、クラブの公共イメージ向上を図りなが
 ら、会員増強・維持の援助を期待します。

PLAN③
 行動計画の策定:ゴール(目的、目標)をしっかりと定めて、地区委員会委員長、
 ガバナー補佐と行動計画の期限を設定する。

ACT④
 行動の意味:ガバナーの発した言葉ではなく、貴方自身のガバナーとしての行
 動があなたを語っていることを忘れないで欲しい。我々は行動人である。
 行動の伴わない言葉は、理想主義の暗殺である。(ハーバート・フーヴァー)

FAIL⑤
 失敗の意味:失敗を続けるための勇気が必要である。
 成功は終わりではなく、失敗は致命的ではありません。大切なのは続ける勇気
 です。

RECOGNIZE & APOLOGIZE⑥
 認識と謝罪:

- ・公益のために我々はロータリーを知ってもらうことが必要である。
 また過ちを犯したときは、人々に誤ったことを伝える勇気も必要で
 ある。
- ・他の人を褒めるときは人前で、間違いを正すときは本人だけに
 伝える必要があります。他の人の前での厳しい指摘・あやまちを
 指摘することなどが原因で、ロータリー活動を続ける意欲を失って
 しまった人を何人も見てきました。面子を守ることは非常に重要で
 す。

TAKE RESPONSIBILITY⑦
 責任を取る:
 成し遂げた2025-26年度の結果を受け止める責任感が大切で
 あり、1年間成し遂げた結果の責任をガバナーは受け止めなけれ
 ばならない。
 ロータリーが私たちに何の意味するにせよ、世界にとっては、
 それが成し遂げた成果によって知られることになるでしょう。
 (Paul Harris in 1909)

HAVE FUN⑧
 楽しんでやる:
 楽しむことはやるべきことの1つである。
 金銭を伴わない報酬とは楽しみである。決して自分のクラブの
 会員を利用してはならない。敬意と感謝を持って成し遂げる楽し
 みを共有する。
 あなたには報酬は支払われませんが、あなたは他の機関では
 教えてくれないスキルを身につけ、価値ある経験を得ることがで
 きます。

【ガバナーエレクトからの質問への回答】(骨子)

国際協議会が開催される前に来日し、ガバナーエレクトと直接対話
 したかった理由は、対面式こそロータリーだからです。オンライン会
 議は相手の目や表情を感じることができないだけでなく、自らの
 考えを明確に伝えることができないと思っているからです。
 そして、リーダーには3つのタイプがあります。
 ①事を成し遂げるリーダー
 ②成し遂げることを見ているリーダー
 ③成し遂げたことに驚くリーダー
 私は①であるが、みなさんはいかがでしょうか？

Q1:ロータリークラブについて

- ・2019年にロータリークラブの地位はロータリーと同じと規定されたが、現在で
 も、実質は試験期間である。
- ・現状ロータリークラブとロータリークラブは同等ということは難しい。これ
 はしっかりと文書として規定すべきであり、少なくとも2025-26年度中には
 なんとかなすべきである。
- ・国際協議会には各ゾーンのRACの代表をRI会長エレクトの予算で呼ぶ。
 34ゾーンあるので34人あるいはその倍のロータリーアクターが集まるが、こ
 れは補助金ではなく投資である。将来ロータリアンになるようためのロータ
 リーへの投資である。
 ダメなロータリーアクターを派遣したRI理事は評価されないでしょう。
 ・とにかく、今はロータリークラブとともに学び、ともに活動することが大切であ
 る。

Q2:退会防止

- ・ Good Continuous Leadership: 上手くいっているクラブは継続的に良いリー
 ダーがいる。クラブの文化をRI会長が変えることはできない。唯一言えることは
 「新クラブをつくるべきだ」
- ・ Purpose(目的): クラブ会員全員が同じ目的・目標に向かっていくことが大切で
 ある。
- ・ 年齢層: 良いクラブはあらゆる世代の会員がいる。そして、その会員が一つと
 してまとまるのが大切である。
- ・ 良いクラブであるためには、クラブが存在するコミュニティの変化に応じなけれ
 ば存続しない。その変化を拒否すると、最終的には会員が減少してしまう。要は、
 継続と変化のバランスが重要である。
- ・ 一人のオーナーがクラブを牛耳っている場合、そのクラブはすぐに終末を迎え
 ることになる。

Q3:会長テーマについて

- ・ 会長テーマは設けない。年度ロゴやバッジも作らない。今まで
 テーマを設けたことがロータリーを弱体化させたと考えるからである。
 テーマバッジやテーマロゴはロータリーの本質である「車輪」のマー
 クの意味を忘れさせてしまう。ただし、会長メッセージは発表する。
- ・ 国際ロータリーの方針がクラブに伝わり、実行するまでに3年か
 かる。そのため、「ロータリー行動計画」は次年度もそのまま遂行
 する。
- ・ 年度ネクタイとスカーフは大切なロータリー財団の資源(1枚あた
 り150ドル)になるので、これについては継続する。

Q4: 会員増強について

ロータリーを今後とも維持するには、以下に尽きる。
1に会員増強、2に会員増強、3に会員増強である。
・会員増強はロータリー財団の維持にも関わっているし、これが成し遂げられなければ、ロータリーは衰退し、消滅してしまう。

Q6: 平和の構築について

Positive Peace (積極的な平和) という言葉がある。

平和は一人一人、一回一回作っていくものであり、その国の国民の健康維持や経済の安定が基礎となる。その目標達成は遠くとも一歩一歩進めていくしかない。

1. 居心地の良い元気なクラブをつくらう

- ① クラブ会長のリーダーシップを会員全員で支えよう
- ② 楽しい例会を企画し、会員の参加意識を高めよう
- ③ デジタルをうまく役立てよう
- ④ 行動計画と4つの優先事項を踏まえ、3年ビジョンを描こう

2. 新しい友人たちを温かく迎えよう

- ① ホスピタリティ豊かなオープン例会を開催しよう
- ② 従来型にこだわらず、新タイプのクラブで新しい友人たちを迎えよう
(新タイプとは、衛星クラブ・オンラインクラブ・分野特化型クラブなど)
- ③ ベテランがメンター(相談者・助言者)となって新入会員を育てよう

3. 百の言葉より一つの行動を起こそう

- ① 世界平和と子供の命を守るために寄付活動を推進しよう(ポリオ根絶等)
- ② 地域の課題を調べ、奉仕の輪を広げよう(グループ・近隣クラブとの連携)
- ③ 平和の懸け橋となる若者たちを育てよう(青少年への取り組み)

2. 地区委員会とグループ活動

- ① DEI 委員会を新設し、多様な会員の入会促進と退会防止活動を展開します
- ② 大学でのローターアクトクラブ設立を支援します
- ③ 入会3年目までの会員に「新入会員セミナー」を実施します。(昨年から継続)
- ④ ガバナー補佐と社会奉仕、職業奉仕委員会が協力し、地域防災・減災についてロータリーで考え提案します。(インターシティミーティング・地区大会)
- ⑤ 長野県との連携協定について検討を進めます。

Q5: ポリオ根絶

・ポリオへの寄付の意味を一言で言うと、「あなた自身の健康には関係ない。あなたの子供もしくはその孫がポリオワクチンを接種していない1歳から5歳だった場合、感染者があなたの国に来訪したならば、その子供あるいは孫は感染し、生涯苦しまなければならない。そのことをあなたは我慢ができますか？」
・昨年度、ポリオ発症数は95件(実質はその数倍)と報告されている。WHO(世界保健機構)は、仮に今ポリオワクチンの投与を中断すると、飛行機を媒介としてあっと言う間に20万の症例が発生すると発表している。

国際ロータリー第2600地区

■2025-2026年度 地区運営方針■

つながり未来へ 信濃の国の物語

山河に隔てられた信州には、地域独特の歴史や文化が育ちました
私たちは信濃の国々で磨き上げた物語を
私たちの奉仕の心と共に未来へとつなぎます

■活動目標

1. クラブへの支援

- ① マイロータリーの登録を促進し、ロータリー情報の入手と、ラーニングの活用で豊かなロータリーライフの実現を支援します。
併せて、ジャパンロータリーポータルサイトの登録を支援します。
- ② クラブ会員の10%を地区委員会へ出向頂くことで、地区の委員会活動を充実させ、各クラブの未来を背負う人材の育成を支援します。
- ③ ローターアクトクラブの活動を支援します。
- ④ インターアクトクラブの活動を支援します。
- ⑤ 新しいタイプのクラブの発足を支援します。

■地区寄付目標

1. ロータリー財団への寄付

年次基金	1人 150ドル (0クラブを無くそう!)
ポリオプラス	1人 30ドル (0クラブを無くそう!)
平和センターへの寄付	1人 200円
恒久基金への寄付	1クラブ 1,000ドルと大口寄付者の獲得

2. 米山記念奨学生への寄附

1人普通寄附金 3,000円と特別寄附金を合わせて20,000円以上を目指しましょう。

Rotary
第2600地区

2025-26年度 第2600地区
地区大会・IM共通テーマ

地域の防災・減災

ロータリーで
防災・減災
何ができる
(...?)
何かできる
!!

私の長年の地域活動の中で、「防災」が一つの大きなテーマとなっています。次年度ガバナーとして活動するにあたり、日頃の防災活動で得た経験と人脈を共有させてください。

防災は、自治体任せで良いものではありません。災害は、忘れた頃にはなく、忘れる間もなくやって来るのが、現実です。

皆さんもロータリアンとして、企業のトップとして、家庭人として、防災・減災について考え、行動する年にしていただけませんか。

*** ふるさとを守る4つの方法 ***

自 助・・・ わが身を守り、人を救助
共 助・・・ 周り(近所)の人と協力する
公 助・・・ 公設の避難所等に逃げる
お守り・・・ RC防災カードをお守りにする
 ローターリーへのおみやげ

自 助・・・ わが身を守り、人を救助

- 超我の奉仕
- 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる
- 職業人、地域社会のリーダー
- ロータリアンの高潔性
- 日頃の体力づくり
- 防災訓練に参加し、技術習得
- 日頃の習慣4つの満タン
車のガソリン・バスタブのお湯
携帯のバッテリー・
防災袋

〈RCに関連づけると〉

〈地域市民として〉



共 助・・・ 周り(近所)の人と協力する

- 奉仕
- DEI (多様性・公平さ・包摂)
- リーダーシップ
- 親睦
- 近所で協力して避難
- 町会行事や防災訓練に協力
- 避難所での共同生活
- 家族の集合場所

〈RCに関連づけると〉

〈地域市民として〉



公 助・・・ 公設の避難所等に逃げる

- ロータリアンのネットワーク
- 職業人と地域リーダーの集まり
- 周辺の地区(RC)との防災協定
- 防災イベントの実施
- 避難所までの道のりを確認
地域の危険箇所を知る
- 近くの避難所を確認(ハザードマップ)
- 通報訓練(消防署)
- 3日間生き延びると救助隊が来る
- 災害時は消防車・救急車が来ない
- 防災ピクニック

〈RCに関連づけると〉

〈地域市民として〉



お守り・・・ RC防災カードをお守りにする

- 防災カードの作成し、防災知識を習得。
地域社会にインパクトをもたらす
- イベント等で市民に配布し、RCの公共イメージを上げ、適応力を高める
- 防災ハイキングで参加者の基盤を広げ、新規会員の獲得を図る
- RC会員の積極的なかわりを促し、クラブ内の親睦を深める
- オリジナル防災カードをつくる
- 災害時の緊急情報を記入
- 必要な個人情報を記入
- 家族の避難先・連絡方法等を決め、お守りとして持ち歩く

〈RCに関連づけると〉

〈地域市民として〉

4つの行動指針



①公共イメージの向上・・・ロータリアンへの世間の目が変わる

②会員増強・・・様々な外部の方々と接することでチャンス到来

③会員同士の信頼と親睦を深める・・・楽しくアイデアに富んだ活動



地区を挙げて、防災をテーマにした統一性の高い大規模なボランティアイベントは予定していません。

なぜなら地域ごと「防災」のテーマが異なっているからです。

ガバナー補佐の皆さま、各グループのインターシティミーティングにおいて、防災・減災について考える時間を設けていただけませんか。

そして、地区大会では、地元の劇団、行政関係機関に協力頂き、防災・減災をテーマにRCオリジナル演劇を披露したいと思います。

つなごう未来へ
信濃の国の物語

山河に隔てられた信州には、地域独特の歴史や文化が育ちました。私たちは信濃の国々で磨き上げた物語を私たちの奉仕の心と共に未来へとつなごう



次週のプログラム

4月10日 卓話

次々週のプログラム

4月17日 休会(法定休日週)